

自然と歴史を楽しむ道しるべ！

# 筑波山麓 フットパス

神郡～六所～筑波コース

約6km



筑波山中腹にある、全国屈指の由緒ある神社。筑波男神伊弉諾尊（いざなぎのみこと）、筑波女神伊弉冉命（いざなみのみこと）2柱を御祭神とし、万葉の昔より広く信仰を集めている。

家康が江戸に幕府を置くと、筑波山は江戸城の「鬼門（北東）の守り」とされ、中腹の中禅寺が祈願所に定められました。後に、家光による堂社の一新を機に、つくば道や門前町が作られ、参詣者で賑わうようになりました。かつての中禅寺に祀られていた千手観音は、昭和35年に復興された筑波山大御堂に安置されています。



スタートは、筑波山神社の御神橋（ごしんきょう）前から。「筑波（御神橋）」の道標を右に見て、東の小道を進みます。道沿いにならぶ売店を楽しみながら、道なりに白雲橋（しらくもはし）をわたって東山地区へ。

筑波山神社からスタート

凡例

- フットパス道標
- フットパスコース
- おすすめコース
- 主要な道路
- メッシュは500m
- 湧水 人家の井戸を訪ねる際は了解を得てください
- 登山道
- バス停 筑波地区支線型バス「つくばね号」
- バス停 関東鉄道バス（筑波山シャトルバス）
- 良い景色
- 石の階段
- お土産
- 観光案内所
- 駐車場
- トイレ
- 食事処
- 立ち寄り湯
- 宿・ホテル
- 大きな建物
- 神社林・公園など
- 駐車場



万葉の時代からの歴史を巡って  
歩く小道 Foot Path



筑波ふれあいの里から見る筑波山(表面 C-3)



つくば道(神郡) (裏面 A-3)

観光推進課 X(旧Twitter) Instagram

自然と歴史を楽しむ道しるべ!

# 筑波山麓 フットパス

神郡～六所～筑波コース

約6km



スタートは市営神郡駐車場から。おすすめは、神郡のつくば道を経由するコースです。観光案内板を正面に見て西進し、神郡の一つ目信号(点滅)を南進するとつくば道です。神郡の古い街並みを楽しんでください。蚕影(こかげ)神社の道標で東進すると、蚕影神社方面、六所方面です。

蚕影神社道標

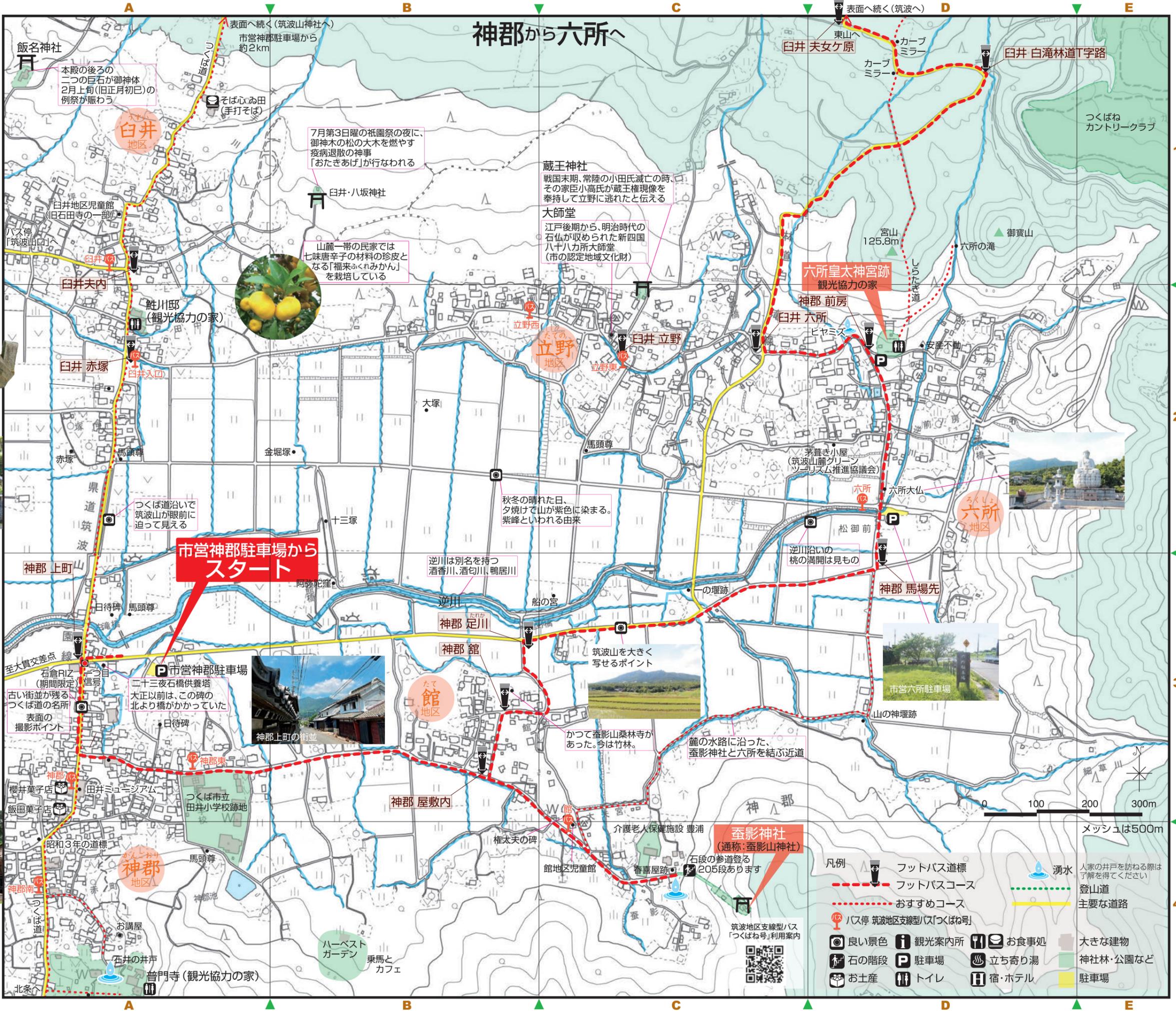
## 六所皇大神宮跡 ろくしょこうたいじんぐうあと(D-2)

この地には六所神社があり、明治41年に廃社されて蚕影神社に合祀されました。筑波山神社で行われている御座替祭(おざかわりさい)も、かつては当社を里宮として行われ、筑波山の男女の神が和合して宿した生命を里に迎える神事から始まったとされています。廃社前は、本殿が2棟あったとされ、筑波山の男女二神を祀っていました。今では石垣が往時を偲ばせます。



## 蚕影神社 こかげじんじや(C-4)

通称:蚕影山神社。神郡のつくば道沿いにある明治13年の道標には旧字体で「蠶影神社」。館地区にあった蚕影山桑林寺も養蚕信仰の地として栄えましたが、明治の廃仏毀釈により廃寺となりました。蚕影神社は、全国にある蚕影神社の総本社として、養蚕業が盛んであった昭和中期まで関東一円、遠くは長野まで信仰を集め、今でも絵馬堂には奉納された絵馬が残っています。本殿は江戸初期、拝殿は明治時代の建築。長い石段の登り口には、昭和初期まで参詣者の旅館・休憩所であった春喜屋も見ることができます。養蚕発祥の地として「金色姫伝説」があり、天竺から桑の舟で流された姫が、この地で権太夫(ごんだゆう)夫妻に助けられ、病で亡くなった後、姫は棺の中で蚕となり養蚕を伝えて恩返しをしたといわれています。毎年3月28日は蚕糸祭、10月23日は秋の大祭が行われ、賑わいます。



## 神郡から六所へ

市営神郡駐車場から  
スタート

蚕影神社  
(通称:蚕影山神社)

- 凡例
- ▲ フットパス道標
  - フットパスコース
  - おすすめコース
  - バス停 筑波地区支線型バス「つくばね号」
  - 📍 良い景色
  - 🏠 観光案内所
  - 🍽️ お食事処
  - 🚶 石の階段
  - 🅇 駐車場
  - 🚿 立ち寄り湯
  - 🚻 トイレ
  - 🏨 宿・ホテル
  - 🏠 大きな建物
  - 🌳 神社林・公園など
  - 🅇 駐車場
  - 💧 湧水
  - 👣 登山道
  - 🛣️ 主要な道路
  - メッシュは500m

